

第1回 公的組織BCP研究会 議事録

1. 会合概要

- (1)開催日時 : 2008年9月9日(火) 18:30~20:00
- (2)場所 所在地 : 特定非営利活動法人事業継続推進機構 虎ノ門オフィス
東京都港区虎の門2-3-3 坂口ビル 3F
- (3)今回の議長役 : 細坪信二
- (4)議事録作成者 : BCAO 事務局
- (5)今回の幹事 : 磯打千雅子
- (6)出席者 : 天國邦博、磯打千雅子、伊藤英司、大竹省吾、織田美穂、鍵屋一、亀原栄二
古藤智行、佐伯和彦、財部透、野田浩二、藤原実咲、細坪信二、丸谷浩明
矢野陽子、吉川忠寛、渡辺伊都子 (敬称略・50音順)

(7) 主要な決定事項

○公的組織BCP研究会として、対象、時間軸、事象に対して必要となる要素と注意点を整理していく。

- －対象：国・自治体・公益法人・大学・・・
- －時間軸：初動期、復興期・・・
- －事象：地震、テロ、インフル・・・

○進め方について

- ・本研究会の進め方として、毎回、1人~2人から情報提供・問題提起をして頂く。
- ・要素・注意点の整理を行う。
- ・行政、学校関係、病院関係など、隔月などでゲストを招き、知識を深めていくこととする。
- ・初年度は、要素や注意点の整理までとし、次年度、ブラッシュアップするのか方向変換するのかは、初年度末に決定することとする。
- ・今後の新入メンバーには、まず、ニーズを話してもらうこととする。

○最低限必要な知識の習得について

- ・最低限必要な知識を得、ベースの統一を図り、メンバーの共通認識を持つ為に、次のテキストを熟読して頂く。
 - －本日配布した「自治体向BCP(案)」
 - －中央省庁業務継続策定ガイドライン
 - －地方公共団体におけるICT部門の業務継続計画(BCP)策定に関するガイドライン

(8) 次回開催予定

- ①開催日時 : 2008年10月10日(金) 18:30~20:00
(15:00~の月例講習会にて、自治体向BCPについての発表があるため、16:00頃からのご参加をお願いしたい)
- ②場所 所在地 : 独立行政法人国立オリンピック青少年センター 国際交流棟 国際会議室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

(9) 配布資料

- ①第1回 公的組織BCP研究会 議事次第
- ②自治体向BCP(案) (本編・追加)

2. 議事内容

(1) 自己紹介

(2) 配布資料②自治体BCP(案)について

丸谷理事長より当分科会の趣旨説明と、現在は暫定的に細坪事務局長が座長を務めているが、今後、座長・副座長の選出が必要となる旨の説明があり、その後、配布資料②自治体BCP(案)に沿って内容説明があった。

(3) 今後の進め方について

研究会は、2ヶ年計画で進めていき、初年度終了時に中間報告、2年目終了時に報告をするのだが、どういうことを柱として進めていくのか、どのようなことを研究したいのか等、今後の進め方について出席者による意見交換が行われた。

○主な意見は次のとおり。

- ・行政の現状
 - －防災計画はできているが、ゴミの業務、学校業務など、発災時に一旦止まった業務の中で、どこから再開するか決まっていない、自分たちは被災しないという考え。
 - －行政の通常業務の優先業務ができるのかを考えることによって、重要業務を見直すことが重要。
 - －災害時の対応は対症療法的であり、優先順位がつかない。来た順ではなく、ニーズを察知し、優先順位を考えながら対応できればよいのだが。
 - －非常時の支援を具体的に研究したい。
- ・行政、他組織、地域等との連携
 - －行政には限界がある中で、地域構成組織の役割分担を考え、方向性を示したい。
 - －大学組織としてのBCPについて学びたい。
- ・ガイド、指針、ステップアップガイドの作成、啓蒙活動
 - －各機関の特性をとらえたBCPが作れるよう
 - －市町村にはBCPを進めるための人材不足、作業ができるような指針、ガイドがあると助かるのでは。
 - －行政全体ではなく、1部局などから支援をしていくのであればステップアップガイドを活用できるのでは。
 - －防災計画の置き換えが多い中、BCPが必要だということを全国の自治体に啓蒙したい。

最後に、各自の話せるテーマと、ゲストの提案・リクエストを、事務局長(bc@bcao.org)宛にお送り頂くこととし、本会は閉会した。

以上